



取組事例集



令和4年3月
愛知県農福連携相談窓口

農福連携とは、
障害者等が農業分野で活躍することを通じ、

自信や生きがいを持って

社会参画を実現していく取組です。

農福連携に取り組むことで、

障害者等の就労や

生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、

担い手不足や高齢化が進む農業分野において、

新たな働き手の確保につながる

可能性もあります。

農福連携に取り組む人たちの声を
聞くことができます。



のうふく

～JAグループ愛知の農福連携～



愛知県公式ウェブページ

「あいちの農福連携」



農福連携のカタチのひとつ

福祉施設への農作業委託

・サトイモの定植	...	1
・ハクサイ収穫時の運搬	...	2
・コマツナの残渣処理と除草	...	3
・ハウスチンゲン菜の定植	...	4
・露地ハウレン草の収穫	...	5
・ハウスハウレン草の調整	...	6
・露地フキの作付け準備	...	7
・カリフローレの調整・袋詰め	...	8
・越津ネギの収穫調整	...	9
・春ネギの調整	...	10
・モロヘイヤの収穫・調整	...	11
・サニーレタスの調整・帯付け	...	12
・山菜（ワラビ）の袋詰め	...	13
・赤シソの出荷調整・袋詰め	...	14
・タマネギ（早生・晩成）の収穫調整	...	15
・タマネギの出荷調整	...	16
・キュウリの下葉かき	...	17
・加工用トマトの収穫	...	18
・ナスの残渣処理	...	19
・カリモリ栽培後のマルチ剥がし	...	20
・イチゴ定植の作業補助	...	21
・ニンジンの間引き	...	22
・ニンジンの粗選別・出荷準備	...	23
・露地ミカンの収穫	...	24
・ウメの選別と袋詰め	...	25
・スプレーマムの挿し芽	...	26
・カーネーションの出荷段ボール箱の組み立て	...	27
・カーネーション栽培後の残渣処理と除草	...	28

のうふく

農福連携のきっかけ！

農家からの
アプローチ

サトイモの定植

障害のある方が農場にきて、サトイモの定植を行います。



肥料の種類ごとに色の違うバケツに入れると迷いにくいよ。

1



一定間隔で目印がついたロープを用意します。

2



芽の位置を確認します。

3



芽を上にし、倒れないよう黄色の目印の位置に種芋を置きます。

4



芋と芋の間に白い化成肥料を一握り置きます。

5



白い化成肥料の上に茶色の鶏糞を置きます。

6



種芋が決められた間隔で置かれていることを確認します。

7



鍬で平らにならします。

畝を切っておけば、お任せできます！



のうふく

農福連携のきっかけ！

JAからの
提案

重量物の運搬は
高齢の農家さんには
たいへん助かります。

ハクサイ収穫時の 運搬

障害のある方が農場にきて、
ハクサイ収穫時の運搬を行います。



どの段ボール箱を
トラックまで運ぶかを
指示します。



段ボール箱の底を持って、
底が抜けないように
気をつけます。



トラックの荷台に
指示に従って
段ボール箱を置いて
いきます。



台車が使える場合は台車を移動させ、
段ボール箱を台車に乗せて運びます。

ポイント



のうふく

農福連携のきっかけ！
市・農家からの
アプローチ

コマツナの残渣処理と除草

障害のある方がハウスにきて、
コマツナの残渣処理と除草を行います。



1 レーキを使い、残渣を集めます。



2 ハウスの中の雑草も
草取り鎌で取り除きます。



3 一輪車のコンテナに
積みます。



4 ハウスの外の決められた
場所まで運びます。



力を合わせれば
作業はスムーズです。



1回の作業で3棟約1時間の
作業を行います。

のうふく

農福連携のきっかけ！

JAからの
提案

ハウスチンゲン菜の定植

障害のある方が農場にきて、
チンゲン菜の定植を行います。



1

苗をやさしく
置きます。



2

欠株も
ありません。



茶色の部分がある
苗はないかを確認します。



3

マルチの穴の真ん中に
苗を差し込みます。



マルチを
踏まないように
気を付けます。



収穫後の外葉を集めて、
運搬車に乗せる作業も
行っています。

のうふく

農福連携のきっかけ！
福祉施設からの
アプローチ

露地ホウレン草の収穫

障害のある方が農場にきて、
ホウレン草の収穫を行います。



1
ホウレン草を少し倒し
鎌やハサミで根を切り
ます。



2
土がついていたら、
鎌やハサミで軽く叩き
払い落とします。



3
収穫したホウレン草は
小山にしておきます。



4
コンテナに積み込み、
布をかけ、ロープで
縛ります。



5
ロープを持ち、
2人でトラックまで
運びます。

丁寧な作業で
安心して
お任せできます



圃場に鎌やハサミを
残さないように数を確認します。

のうふく

農福連携のきっかけ！
農家からの
アプローチ

ハウスホウレン草の調整

障害のある方が福祉施設で、
ホウレン草の袋詰めを行います。



1 外葉を取り除きます。



2 根を短く切ります。

きれいな
仕上がりです。



3 根を洗います。



4 コンテナにきれいに
並べて入れます。



5 袋詰用補助具に
あらかじめ袋を
セットします。



6 決められた重さに
なるようにします。



7 補助具を使って
袋に詰めます。



8 補助具から袋を
外します。

完成



のうふく

農福連携のきっかけ！
市・農業委員会からの
提案

露地フキの作付け準備

障害のある方が農場にきて、
フキの作付け準備を行います。



1
トラクターで土を起
こし、根を取り出し
やすくします。



2
横一列に並び、
取り残しが無いよう
作業を進めます。



土の中にある根も、
できるだけ取り出します。
手で抜けないものは
残しても大丈夫！



3
コンテナに根を
まとめて運びます。



4
根は決められた場所に
集めます。

手間と時間がかかる作業です。
とても助かります。



のうふく

農福連携のきっかけ！

JA・市からの
提案

カリフローレの調整・袋詰め

障害のある方がJAの作業場に来て、カリフローレの袋詰めを行います。

1



花雷がついた房を手で折って分けます。

2



房の付け根を包丁でカットし、サイズごとに分けます。



花束のように、きれいに袋詰め。

3



秤の目印にあわせて計量します。

4



「花束」に見えるように袋詰めします。

5



袋の口をひねりテープで止めます。

6



コンテナにきれいに並べて入れます。

袋詰めはお任せしてます。



のうふく

農福連携のきっかけ！
農家からの
アプローチ

越津ネギの収穫調整

障害のある方が農場にきて、
ネギの収穫を行います。



傷や取れた葉の有無を
福祉施設の職員が
確認します。

番号札



農場に番号札を立てて、
作業量の目安を示します。



ショベルの深さまで
足で押し込み、
ショベルを倒して
掘り出します。



土を付けたままネギを
取り上げ、隣の畝に葉
を伸ばして並べます。



手作業で1本ずつに分け、
土を落とします。



農場の番号札間の
ネギを薦（コモ）に
乗せて包みます。



出荷者の絵符（エフ）を
薦（コモ）につけ、
軽トラックまで運びます。

のうふく

農福連携のきっかけ！
農家からの
アプローチ

春ネギの調整

障害のある方が農家の作業場に来て、
ネギの調整作業を行います。



1
薦（コモ）に包まれた
ネギを作業台に移します。



2
ハサミで根を切ります。



収穫したて
たくさんのネギ。



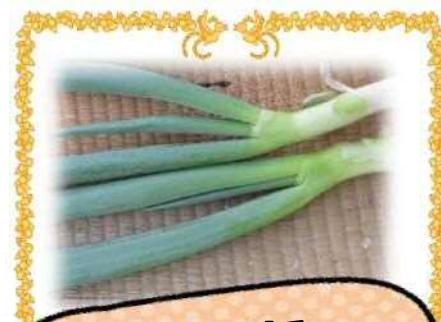
3
2.5枚葉を残し、
薄皮を取り除きます。



4
自動皮むき器を使い、
回しながら皮を剥きます。



5
皮むき器で取り切れな
かった皮を手で取り除
きます。



きれいに
仕上がりました。



調整作業はお任せ！
出荷の作業に専念できます。

のうふく

農福連携のきっかけ！
福祉施設からの
アプローチ

モロヘイヤの収穫・調整

障害のある方が農場と作業場に来て、モロヘイヤの収穫と袋詰めを行います。



虫食いや葉枯などを切り落とします。



右手のハサミで、事前に説明した高さで茎を切って収穫します。



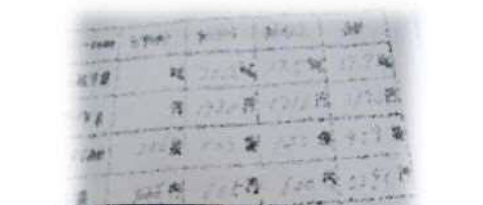
2度切りを行い、収穫用カゴの半分の長さになり揃えます。



まな板の印を目安に、包丁を使って切り揃えます。



出荷袋に入れる量を計量して袋に入れます。



作業量も確認



出荷袋の口をテープで止めます。



出荷用の段ボール箱に列を揃えて入れます。

プラスチック板で数えやすく工夫しています。

のうふく

農福連携のきっかけ！
農家からの
アプローチ

サニーレタスの調整・帯付け

障害のある方が農業ハウスにでかけ、
サニーレタスの調整作業を行います。



1 収穫されたレタスを洗い、
土や汚れを取り除きます。



2 破れた葉を切り落とし、
茎を長さを整えます。



3 手作りの道具を使い、
レタスをビニールの帯で
包みます。



4 重さを計ります。



5 規格ごとに
段ボール箱に入れます



葉が柔らかいため、
とてもやさしく作業しています。

のうふく

農福連携のきっかけ！
市・自立支援協議会からの
提案

山菜（ワラビ）の袋詰め

障害のある方が農場に来て、
山菜（ワラビ）の袋詰めを行います。



摘みたてのわらび



産毛を傷めないよう注意
して計量します。



文房具の
クリアファイルを
活用！

茎を同じ方向に向けて、
フィルムを漏斗のように
使って袋に入れます。



袋に出荷シールを貼って
仕上がりです。

山菜は柔らかくて
傷つきやすいので、
優しく扱っています。



のうふく

農福連携のきっかけ！
福祉施設からの
アプローチ

赤シソの出荷調整・袋詰め

障害のある方が農家の作業場に来て、赤シソの袋詰めを行います。

みんなで
頑張っています。



1 赤シソを持ち上げて軽く振り、異物を落として取り除きます。



2 親指より長い茎は、短くします。



3 決められた重さに計量します。



4 袋の中に赤シソを入れ、袋の口を捻ります。



5 パックシーラーで袋の口を止めます。



6 軽く叩いて袋の形を整え、出荷用の段ボールに10袋ずつ入れていきます。



健常の方と一緒に働くことで、
障害のある方のモチベーションも
上がります。

のうふく

農福連携のきっかけ！

福祉施設からの
アプローチ

タマネギ（早生・晩成）の 収穫調整

障害のある方が農場にきて、
タマネギの収穫を行います。

1 早生タマネギ



規格外品を見分けなが
ら抜き取ります。



2

葉と根をハサミで
切り取ります。



3

規格ごとに
仕分けします。

1 晩成タマネギ



マルチから出ている
葉を鎌で切り取ります。



2

マルチを剥がします。



3

ハサミで根を切り取り、
規格ごとに分けます。



規格に分ける作業は
キッチンと支援します。

のうふく

農福連携のきっかけ！
農家からの
アプローチ

タマネギの出荷調整

障害のある方が福祉施設で、
タマネギの出荷調整を行います。



1
根をもって伸ばし、
ハサミで切り取ります。



2
茎元はハサミを使い、
短めに切り取ります。



3
表面を手で擦り、
泥と浮き皮を
取り除きます。



4
全体を触り、
柔らかくて腐った部位の
有無を確認します。



たくさん
出来ました。



5
コンテナに入れます。

福祉施設の職員が
傷などの有無を確認します。

のうふく

農福連携のきっかけ！
JAからの
提案

キュウリの下葉かき

障害のある方がハウスに来て、
キュウリの下葉かきを行います。



作業する畝に、
赤色のモールで
目印を付けます。



黄色の洗濯バサミから
下の葉を取ります。



作業指導員が間に座り
判断に困らないように
支援します。



左手で葉を持ち、
右手の専用のカッター
で茎葉を切れれば、
間違えて他の葉を
切ることはありません。



作業が終わった畝には
「作業済み」カードを
かけます。

暑さ対策に、
農家さんから空調服を
借りました。

1回の作業で
2～3畝を
行います！



のうふく

農福連携のきっかけ！
農家からの
アプローチ

加工用トマトの収穫

障害のある方が農場に来て、
加工用トマトの収穫を行います。



1
収穫する畝に移動し、
赤く完熟したトマトを
探します。



2
赤く完熟したトマトのみ
をコンテナに入れます。

福祉施設の職員が、
キズなどがある
トマトを取り除きます。



3
コンテナを運び出しま
す。暑さ対策で小休憩
もとります。

気を
付けてます！

色味スケールで
事前に勉強します。



トマトに汚れがあるも
のは、手で汚れを落と
して収穫します。



収穫のときは、トマトの
傷の有無を確認します。



雑草などに隠れている
トマトがないか、しっ
かり探します。

のうふく

農福連携のきっかけ！
市・農業委員会からの
提案

ナスの残渣処理

障害のある方がハウスに来て、ナスの残渣処理を行います。



ナスの残渣を、根の位置で揃えて手に取ります。



収穫中のナス①と収穫後の残渣②の様子



根の部分を握り、3本程度にまとめます。

次の栽培に向けて、片付けなければなりません。とても助かっています。



根の向きを揃え、15本程度にまとめてハウス出口に置きます。

福祉施設の職員が休憩や水分補給を促し、暑さ対策に取り組んでいます。



のうふく

農福連携のきっかけ！
市・農業委員会からの
提案

カリモリ栽培後の マルチ剥がし

障害のある方が農場にきて、
マルチの片付けを行います。



片付け前は、
葉や茎が
残っています。



1
マルチの上の雑草は、
鎌で刈っておくと、
剥がしやすくなります。



2
土で
止めている

マルチを土で端が止めて
いる場合は、スコップで
土を退けます。



3
みんなと力を合わせて、
マルチを剥がして巻き取ります。



4
雑草は土壤に漉き込むため、
残っていても問題はありません。



力を合わせて、
楽しく作業してます。

のうふく

農福連携のきっかけ！
県農業改良普及課からの
提案

イチゴ定植の作業補助

障害のある方が農業ハウスにきて、イチゴ定植の作業補助を行います。



1

葉を折らないように気を付けて、トレイから取り出します。



2

カップを下に向けて少し揉み、ポットを外しやすくします。



作業に合わせて苗を用意！



3

ポットを苗から外します。



4

ポットを外した苗を、苗箱に入れます。



5

苗箱を定植ベットまで運びます。



6

定植ベッドの上に、苗を置きます。



作業が早く進み、苗の傷みが抑えられます。とても助かっています。

のうふく

農福連携のきっかけ！
福祉施設からの
アプローチ

ニンジンの間引き

障害のある方が農場に来て
ニンジンの間引きを行います。



1

車輪付き椅子を使い、
後ろ向きに進みながら
ニンジンの間引きします。



2

根が見えるように
少し茎を倒します。



3

重なったニンジンも
見落とさないように、
ていねいに間引きします。



4

間引いたニンジンは、
畝肩に残します。



指4本程度の間隔を
目安とします。



雑草も取り除き、
農場の外に運びます。



見落としがちな
小さなニンジンも、
忘れずに間引いてくれます。

のうふく

農福連携のきっかけ！
福祉施設からの
アプローチ

ニンジンの粗選別・出荷準備

障害のある方が農家の作業場に来て、
ニンジンの粗選別と出荷準備を行います。



ベルトコンベアーに流れるニンジンの中から、
規格外のニンジンを
取り除きます。



規格外の
ニンジン

規格外のニンジンは、
3つに分類して
袋に入れます。



規格外のニンジンを、
10kgずつ計量します。

↓
規格にあった
ニンジン



出荷段ボールの蓋を
カートンテープで
止めます。



規格ごとに振り分けます。



パレットに決められた
配置で積み上げます。



障害のある方は、福祉施設の職員の
指示のもと作業に取り組みます。

のうふく

農福連携のきっかけ！

JAからの
提案

露地ミカンの収穫

障害のある方が農場にきて、
露地みかんの収穫を行います。



ハサミを使って
ミカンを枝から
切り離します。



二度切りをして、
ヘタに近い部分まで
枝を切り込みます。



傷があるものは、
枝から切り取ります。
これは収穫かごには
入れません。



収穫かごに収穫した
ミカンを入れます。



収穫かごから
コンテナへ移します。

福祉施設の職員が、
収穫されてないミカンが
ないかを確認します。

のうふく

農福連携のきっかけ！
市・自立支援協議会からの
提案

ウメの選別と袋詰め

障害のある方が福祉施設で、
ウメの選別と袋詰めを行います。

1



キズの有無を確認して
選別します。

2



大中小の大きさごとに
分けます。

プラスチック容器に
穴をあけて、
選別しやすく！

3



1 kg となるように
計量します。

4



袋に詰めます。

5



袋の口をテープで
止めます。

補助具を工夫することで、
手際よく作業ができました。



のうふく

農福連携のきっかけ！

JAからの
提案

スプレーマムの挿し芽

障害のある方が農場にきて、
スプレーマムの挿し芽を行います。



1



ひとにぎりの苗を
手に取ります。

2



人差し指の第一関節
までの下葉を取ります。

生育も
順調です。



3



トレイの穴の底まで
挿し込みます。

4



挿し残しがないかを
最後に確認します。

福祉施設の職員も
仕上がりを確認します。



障害のある方は、
福祉施設の職員から
ていねいに説明を受けます。

のうふく

農福連携のきっかけ！

JAからの
提案

カーネーションの 出荷段ボール箱の組み立て

障害のある方が福祉施設で、カーネーション出荷用の
段ボール箱を組み立てます。

1



一度折って
折り目跡をつけます。

2



手前と横を一度に組み
立てます。

きれいに
出来ています。



3



手前と横の爪部分を
挿し込みます。

4



両横の内側に蓋の両横を
挿し込みます。

みんなで
タイミングを
揃えて作業。



完成した段ボール箱は
曜日を決めて納品してくれます。

のうふく

農福連携のきっかけ！
福祉施設からの
アプローチ

カーネーションの栽培後の 残渣処理と除草

障害のある方がハウスに来て、
残渣処理と除草を行います。



きれいに
片付けます。



乾いた残渣の根を
揃えてまとめます。



一輪車に
積み込みます。

根の部分を
交互に置くと、
滑り落ちにくいよ！



決められた場所に
残渣を下ろします。



ハウス内の雑草も
除去します。

短期間で作業を終える
必要がありますので、
とても助かってます。

のうふく取組事例集

令和4年3月25日
編集・発行 愛知県農業協同組合中央会
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目3-8
電話 052〈951〉6944
FAX 052〈957〉1941
印刷 (株)ユキ印刷工業

令和3年度愛知県農福連携推進事業「農福連携相談窓口の運営及びマッチング業務」により作成しています。

【問合わせ先】

愛知県農業水産局農政部農業経営課（教育グループ）

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 TEL 052-954-6409